

広報のほろへつ

市の人口

(9月末現在)

総人口 51,780 (169増)

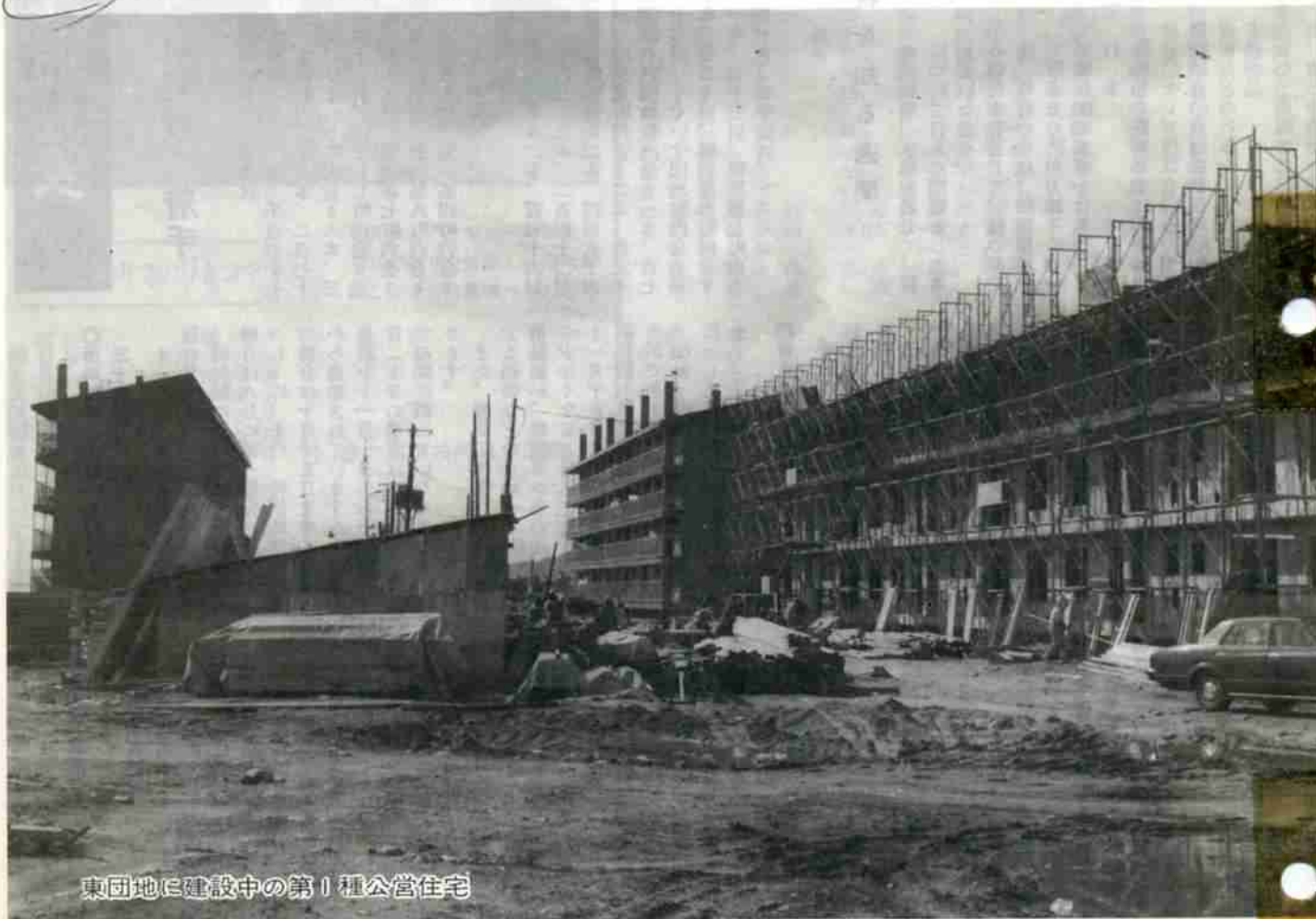
男 25,886 (97増)

女 25,894 (81増)

世帯数 15,252 (41増)

()内は前月との増減

●No.198 ●毎月1日・15日発行 編集発行/登別市中央町/登別市総務部公聴広報課



東団地に建設中の第1種公営住宅

すみよい街づくりへツチ音高く

道路舗装、排水整備をはじめとして、小中学校、幼稚園、公営住宅、保育所、老人憩の家など生活環境、福祉、教育施設整備の大型工事が市内各地区ですすめられています。

これまでの4倍から5倍もの急テンポでしかも巨費を投じての、思いきったマンモス事業に着手し、住みよい登別市建設をめざすためのツチ音が街かどに盛んに響いています。

そして、さらに市民との対話を深めながら、公共下水道、ゴミ焼却炉の建設をはじめ、総合スポーツ公園、市民の森、サイクリングロード、青少年の家、市民農場など、数多くのプランを実行に移していこうと全力投球で着実に進んでいます。

多くの市民の意志を十分に受け、市民と市とがお互いに市政の共同責任者として、相互にはげまし合いながら、愛情のある公平な市政をすすめる、その中から統一的な秩序を維持していこうとしています。

11.1

1975

市道舗装

いよいよ第三期工事に着手

市道舗装百パーセントをめざし急ピッチで進行している、市道舗装第三期工事に着手することになりました。

今回は、次の地区の工事に入りますが、私有地用地の確保、道路用地に入っている支障物件等の撤去などみなさんのご協力を得なければ、舗装工事は順調に進みません。

このほか、工事期間中は、交通止め、工事の騒音、振動などで大変ご迷惑をおかけしますが、しばらくの間お許しをおねがいいたします。

尚、工事中にお気付きの点は、市土木部土木課道路係まで、ご連絡ください。

いぞんじですか

税を知る週間

◎税を知る週間

一、期間
税務署では、十一月十一日から十一月十七日までの一週間を「税を知る週間」としています。

二、目的

昭和二十九年以来二十二年間にわたって実施された「納税者の声を聞く週間」を昨年からは「税を知る週間」に改めたもので、週間の目的は次の二点です。

①「納税者」ばかりでなく、幅広く「国民各層」を対象とし

関係民間団体においても各種の行事が行われる見込みです。

◎所得税第二期分の納税は十一月三十日まで

十一月は、所得税第二期分の納税の月です。

納税額については、一般の人の場合は六月に第一期分の通知といつしよに、また、特別農業所得者の場合は十月十五日までに税務署から通知されていますから、その金額を十一月一日から十一月三十日（本年の場合は十二月一日）までの間に納めていただくこととなります。

また、廃業、休業、又は災害による損害などのため、本年分の見積額が、税務署からの通知額より少なくなると見込まれる人は、十一月十五日までに税務署に予定納税額の減額承認の申請をすることが出来ます。

なお、所得税の便利な納税の方法として、振替納税の制度があります。

◎青色申告のおすすめ

所得税では、自分で所得や税額を計算して申告し、納税する申告納税制度をとっています。

そこで、毎日の取引を帳簿につけ、その帳簿に基づいて正確に所得や税額を申告する人には、所得の計算の面などで、いろいろ有利な取扱いをするようになっていきます。

これが、青色申告制度です。

青色申告をすると、税金の面で有利となるだけでなく、帳簿をつけることによって、経営の内容がよくわかり、経営の合理化にも役立ちます。

また、青色申告をしていない人のために、青色申告の特典や手続きなどについて説明しましょう。

▲青色申告の特典
特典は、四十四ありますが、そのなかで一般的なものとしては次のようなものがあります。

一、青色申告控除
青色申告をしている人は、十万円を限度として所得金額から特別に控除されます。

二、青色専従者給与
青色申告者と生計をいっしょにし、もっぱら事業に従事している親族に支払った給与は、必要経費になります。

▲青色申告の手続
新しく青色申告をしようとする人は、その年の三月十五日（その年の一月十六日以後に開業した人は、開業の日から二か月以内）までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出してください。

▲記帳などの相談
帳簿のつけかたや決算のしかたなどがわからないときは、気軽に税務署で御相談ください。

また、商工会議所、市町村の商工会、青色申告会などでも、帳簿のつけかたなどの指導をしていますから、御利用ください。

(室蘭税務署)

「くま号」に決まる

移動図書館車の愛称

市立図書館では、移動図書館車の愛称を募集していましたが、百二点の応募がありました。

図書館協議会委員と図書館長が慎重に審査した結果、つぎのように入選、佳作がきました。

◎入選
くま号 内田奈穂美(幌小六)

◎佳作
なかよし号 吉田明子(三)



理事長に中浜元三郎

土地開発公社理事会

昭和五十年十月十一日の登別市土地開発公社理事会において、理事長および専務理事の辞任にともなう選任をおこないました。

この結果、理事長に中浜元三郎(市助役)、専務理事に大笹繁(市総務部長)を決定しました。

土地開発公社は、登別市の総合的な都市開発を進めるため、土地の先行取得を主な事業として昭和四十八年二月に設立し、理事長は市役所の助役以下五人の部長で構成されているほか、理事長には助役専務理事は総務部長が当たることになっていきます。

図書館に 百三十万円寄贈

文化的な市民生活の向上に役立ててほしいと、大成道路株式会社はか四社より図書購入費の寄贈がありました。

図書館では、その意志をお受けし各社の文庫を設置することになりました。

なお、図書は近日中に館内に配架されますので、みなさんのご利用をお待ちしております。

大成道路文庫 三十万円
富士建設文庫 十万円
石井組土建文庫 三十万円
PSコンクリート文庫 三十万円
神道路建設文庫 三十万円

鷺別中が優勝

今年度の市内中学校秋季野球大会は、十月四日、十一日、鷺別中グラウンドで開かれました。

決勝は、鷺別中と西陵中で争われ、接戦の末、鷺別中が優勝しました。結果は次のとおりです。

・鷺別中 110000002
・西陵中 1010100X3

(幌) 中野—吉田
(西) 石川—若林

・鷺別中 01010103
・温泉中 010000012

(鶯) 杉原—千葉
(温) 徳漢—進藤

・西陵中 (不戦勝) 登別中
・鷺別中 100000001
・西陵中 000000000
(鶯) 杉原—千葉
(西) 田中—石川—若林

市民文芸

〈川柳〉

ひかり学園児童作品

小1 難波 賢一
とうさんとたのしいけんか
したんだよ

小1 中村まゆみ
かなしくなるとそつとママと
よぶんです

小3 井上 孝治
あまえない気持ちが母につたわった

小3 広岡 和美
歩きすぎつかれた足をなぐさめる

小3 鳥 修一
弱虫のぼくをはげます海の音

小3 金丸 明美
泣くもんか泣いたら病気に
笑われる

小4 山木 昌子
とんぼくん私を家に連れてって

小6 浜野 亮
退院につながる道が行き止まり
一般作品

石山 香雨
和が乱れそうだとぼけた顔で居る

加納 美舟
器用ではないが真心縫い合わせ

小林 碧水
体温のない履歴書でする評価

畑 虹児
土くさい手がなつかしい声で来る

岩永 福次
嘘に嘘重ねて愛の掌が冷える

首藤 政子
歪に義理が浮いてる招待状

志水 点滴
父子家庭白く乾せないシャツを
着る

竹田 保治
回り道した甲斐あって花が咲き

種田 琴舟
手遊びの子にいらだちの参観日

田沢 政枝
陽は昇る涙も濡れた女にも

俳句
惠寿園(養護老人ホーム) 作品

渡部 清二
闇の夜や流星ひとつまたひとつ

増田 菊代
出張の夫帰る日なり水を打つ

館崎 喜代
うたた寝の掌より団圓か

青山 薫
すがたの寝る事を忘れて昼寝覚め

片桐 セキ
わが家なる事を忘れて昼寝覚め

仲町 ヨシ
天の川速まわりしてしまふ

松岡 信市
風呂桶り

岡本 文雄
昼寝覚め吾が子の寝息横にあり

丹野 クラ
来る友を西瓜を割って待ち居りぬ

島山 きわ
水打れば孫も出て来て手伝えり

名の知らぬ華なり積一杯
市民俳句会作品

中田 曉村
サルビヤのそよぎて落す

岩永 福次
オルガンに輪となる園児秋高し

島山 白翠
ひと声遣む虫音が歩巾狂わせる

青山 薫
蜻蛉の巨岩に薄き翅をやす

千葉 風雨
屋上に白衣跳び交ひ秋高し

小野たかし
鋸の錆びて大工秋の風邪

今野 広人
一頭の白馬を放ち大花野

土屋 静風
この道に来る人もなし秋の山

高木 美代
舞踊納めて帰る花野中

斎藤 睦村
秋高し銀一色のヘリコプター

仮装おどりでユーモアたっぷり
に踊りを披露し、市民を
喜ばせた自衛隊へそおどり



市民まつりでのひとコマ

明るい話題

去る十月九日、登別東町に住む三宅雪雄さんは、国勢調査員の報酬に四千五百円をプラスして合計二万円を、老人クラブである老友高砂会に登別支所長を経由して寄贈しました。昔は、国勢調査の仕事は無料でした。

かの形でいたわってあげたいと三宅さんは、謙虚に話されています。

赤い羽根共同募金運動



10月1日～12月31日が
運動期間です

ご寄贈ありがとうございます

〈社会福祉協議会へ〉

愛情銀行

陸上自衛隊練別駐とん部隊三
中隊管内陸曹一同殿・三千八
百八十三円、畑中誠作殿・十
万円、渡辺はる江殿・三千元、
伊藤芳太郎殿・三千元、木原
孝一殿・三千元、登別商工青
年学園殿・一千五百五十八円、
羽二生ソノ殿・二万円、あす
を築く青年の会殿・二万八千
六百六十二円、登別軽音楽サ
ークル渡辺バンド殿一万円、
登別市役所税務部福祉事務
所、出納課市民まつりねぶた
おどり一同殿・六千元、登別
高校生徒会一同殿・一千六百
円、登別青年会議所殿・十九
万一千五百円

殿・衣類八十点、大矢武男殿・
衣類二十五点、川野瑞枝殿・
衣類二十点、岩永敏男殿・衣
類八十点、田中美代子殿・衣
類三十点、大橋たま殿・雑巾
百枚、登別ライオンズクラブ
殿・衣類二百点、岩永敏男殿・
布団一組、匿名・衣類五十点
〈台風六号による被災地への義
援金として〉

〇古切手寄贈
中村加津子殿・一千枚、持丸
虎太郎殿・四百二十八枚、兼
合田設備殿・八百枚、岩倉則
子殿・一千二百二十五枚、渡辺
吉次殿・百枚、木村ノブ殿・
七百枚、川野瑞枝殿・二百枚、
奥村ハル殿・三千四百四十二枚、
大場たま殿・四百五十枚、松
緑神道大和山観別支部殿・五
千枚

〇物品寄贈
老人クラブダイヤモンド会
殿・雑巾五千枚、株第一流本
館殿・丹前下八百枚、狩野正
直殿・衣類八十点、明正節子
殿・衣類二十点、大黒三三郎

〇共同募金会登別市支会扱い
老人クラブ老友高砂会殿・四
千五百五十五円、富浦町内会婦
人部殿・五千元、老人クラブ
寿楽会殿・五千元、あすを築
く青年の会殿・四万円

〇日本赤十字社登別地区扱い
気田フミ殿・一万円、藤村権
次郎殿・二万円、創価学会登
別本部青年部一同殿・七万九
千八百八十六円、観別中学校生
徒会一同殿・二万五千二百八
十三円、老人クラブ老友会殿・
六千元、老人クラブダイヤモ
ンド会殿・二千元、老人クラ
ブ優和会殿・六千四百円、老
人クラブ柏陽会殿・二千三百
五十円、老人クラブ共和会殿・
三千八百五十円、老人クラブ
鷲菜会殿・七千元、老人クラ
ブ南山会殿・五千元、老人ク
ラブ長寿会殿・二千二百円、
老人クラブ不老の会殿・五千
円、老人クラブ永楽会殿・五
千三百円

おしるせ

身障訓練生募集

砂川市身体障害者職業訓練校では、入校希望者に対して現地説明会及び入学適正相談を行ないます。

応募資格

・肢体または視聴覚に障害のある方で訓練によって、再発や悪化のおそれのない方。
・義務教育修了者または、同等以上の学力のある方。
・修業の意思が強くあり、かつ訓練に堪え得る方。

※詳細については、市福祉事務所保護課庶務係へお問い合わせください。

重度身障者へ

手押車を交付

登別市にお住まいの身体障害者手帳をお持ちの方で、下肢または体幹の障害のため寝たきりの、一種・二級の方に限り、無料で日光浴用の手押車の交付を受けることができます。

交付希望の方は、市福祉事務所保護課庶務係へどうぞ。

◎交付対象者
家族を含め、市民税の非課税者に限られます。

母子家庭にしあわせを

母子福祉研修会を開催

母子家庭の方々のおしあわせをねがって、「母親の心理と子供の教育」をテーマに母子福祉研修会をひらきます。

この研修会では、提言者の発表にもとずき、参加者の意見交換と質疑応答を行なうほか、記念講演も予定しています。

- 出席を希望される方は、次により申し込んでください。
- ◎とき 十一月十六日 十時
- ◎ところ 登別温泉公民館
- ◎提言者 母子世帯代表、市担当課長
- ◎講師 恵愛病院院長 遠藤秀雄氏
- ◎申込先 福祉事務所保護課 (母子相談員)
- ◎申込期日 十一月五日(水)

赤ちゃん検診



市では、医師、保健婦、栄養士による赤ちゃん検診を次の日程で行ないますので、母子手帳を必ず持参してください。

※対象児
昭和五十年七月・八月生まれの乳児(警別地区は八月生まれのみです)

※内容
計測、診察、栄養指導、育児指導

※用意するもの
パスポート、変えオムツ、母子手帳

◎今月は市道民税・国民健康保険税の第三期分の納期です。

忘れず、自分で、窓口へ

◎公営住宅使用料、保育料も毎月納めましょう。

九カ月児・その他相談のある乳幼児(育児指導)

中央公民館和室 (保健衛生課)

胃の検診を受けましょう

市では、北海道対がん協会の協力を得て、次の日程により胃の検診を行ないますので、希望者は至急申し込みください。

なお、日程の都合上、各日とも百名になりしだい締め切らせていただきます。

※対象者
満三十五歳以上の方(両親及び近親者ががん等の疾病のある方は三十歳以上の方)

※検診料
国民健康保険加入者四百五十円
生活保護世帯 五百円
受診当月七十歳以上 五百円
一般(右記以外の方) 千五百円
※申し込み先
市役所保健衛生課健康指導係

11月の健康相談

毎週木曜日、みなさんの身体や心に関する相談に応じています。十一月の相談日は次のとおりです。ぜひご利用ください。

- ▽実施日及び受付時間
十一月六日・十三日・二十七日
午前部 十時～十時三十分
午後部 一時～一時三十分
- ▽内容
午前：成人病相談(生活・食事指導)、妊娠相談、家族計画相談
午後：赤ちゃん相談(六カ月児)

11月上旬の予防接種

十一月月上旬の予防接種を次の日程で行ないますが、次の点に注意して受けるようにしてください。

生ワクチン接種後一カ月を経過していない乳幼児は、他の予防接種は受けられません。
体温は必ず家で計ってください。
母子手帳を必ず持参ください。

▽日程

- 種痘 十一月十三日 中央公民館
- インフルエンザ
十一月六日 商工会館
十一月十三日 中央公民館
- ◎受付時間は、十三時から十三時三十分までで、インフルエンザは三歳以上の希望者(二回接種)で料金は一回三百五十円です。
- ただし、中学生以下は無料です。

訂正

広報のぼりべつ八月十五日号の三頁、秋期予防接種の日程表のうち、インフルエンザの接種料金は十五歳以上一回につき、二五〇円とあるのは誤りで、三五〇円が正しい料金です。

訂正してお詫びいたします。

無担保・無保証人・低利の融資制度をご利用ください

商工会議所の推せんで、無担保無保証人、低利の「小企業経営改善資金融資制度」が利用できます。

推せんを受けるためには、従来から会議所の経営指導を、



そのスピードが死を招く

六ヶ月以上受けていること
最近一年以上、登別市内で事業を行なっていること
所得税、法人税または市道民税を完納していること
申し込み要領
《融資対象》
商業、サービス業は従業員二人以下、製造業その他は従業員五人以下(いずれも、事業主と家族従業員は除く)
《融資条件》
運転資金 百万円以内
設備資金 二百万円以内
《融資期間》
二年以内(百万円を超える場合は三年以内)
《利能》
年七・二割 担保、保証人は必要ありません。
《融資申し込み期限》
昭和五十年十一月末日までです
《融資推せん方の申し込み先》
登別商工会議所
《問い合わせ先》
登別商工会議所(電話五局四一〇一)
か市観光商工課商工振興係(電話五局二二一内線二七三)
《問い合わせください。》